

ぐんまこどもの国児童会館

にこっと通信

nicotto tsu-sin!



にこっとちゃん

2006.7.15

第14号

発行／
ぐんまこどもの国児童会館

こどもの国に
ASIMOが来たヨ!!



第1弾

7月22日(土)～30日(日)

みんなで楽しもうキック&シュート
～ダッシュ!ダッシュ!ダッシュ!～

時間: 9:30～17:00

会場: 多目的ホール

第2弾

8月5日(土)～20日(日)

真夏の忍者修行でござる
～こどもの国に忍者屋敷出現!～

時間: 9:30～17:00
(忍者屋敷は10:00～16:30)

会場: 多目的ホール

※詳しくはお問い合わせください。



第3弾

8月24日(木)～31日(木)

ワンツーチレンジ!

時間: 9:30～17:00

会場: 多目的ホール



スペースシアター

●プラネタリウム新番組 上映中

プラネタリウム番組に幼児向け番組が登場!
ただいま「それいけ!アンパンマン～星
空をかえせ～」を上映中です。また、一般
番組は「ののちゃんと星を見よう」です。

■ それいけ! アンパンマン
～星空をかえせ～
平日 14:30～
(夏休み期間中は11:00～)
土・日・祝日 13:00～

■ ののちゃんと星を見よう
平日(夏休み期間中のみ)13:00～
土・日・祝日 14:30～
※夏休み期間...7/21(金)～8/31(木)



次世代を担う
子ども達が未来に
見る夢を募集します

ぐんまこどもの国 夢大賞 第15回

部 門	絵 画	童 話
テーマ	「ぼくの夢、わたしの夢」	創作童話(テーマは自由)
規 格	四つ切画用紙(約39cm×54cm)	400字詰め原稿用紙10枚未満
対 象	18歳未満	小学生以上18歳未満

応募方法 所定の応募票を添付し、郵便または児童会館まで持参して
ください。

募集期間 8月1日(火)～9月10日(日)

その他 作品は未発表のものとし、応募作品は審査を行い各
種目ごとに賞を設け、賞状等を贈ります。表彰式を11月
19日(日)に行う予定です。

休 館 日

7月...3日(月)・10日(月)・18日(火)・24日(月)・31日(月)
8月...7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)
9月...4日(月)・11日(月)・19日(火)・25日(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL.0276(25)0055 FAX.0276(25)0059
URL <http://www.sunfield.ne.jp/kodomo01/>

「ビバ！こどもカーニバル」

●●● 児童福祉週間とは？ ●●●

今年は、児童福祉週間が制定されて60周年の節目を迎えました。一般的に、こどもの日はよく知られていますが、「児童福祉週間」という言葉はあまりピンとこない方が多いのではないのでしょうか？

国では、こどもや家庭、こどもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に昭和22年より、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間(5月5日～11日)」と定めています。毎年この時期には、全国各地において、公園等の無料入園や親子で楽しめるフェスティバルの開催など、こどもの福祉を考えるための各種イベントが実施されています。

記念の年を迎えた今年は、財団法人 児童健全育成推進財団が主催し、独立行政法人 福祉医療機構の助成を受け、「次世代を担う子どもたちからの発信」をテーマに、子ども達が主役となって活躍する「児童福祉週間60周年記念事業 全国児童館フェスタ2006」が、東京や京都など全国39ヶ所で開催されました。

●●● ぐんまこどもの国児童会館では ●●●

当館も、全国開催会場内の1つとして、4月29日(土)～5月14日(日)まで、異文化交流をテーマに「児童福祉週間60周年記念 ビバ！こどもカーニバル」を開催しました。

当館がある太田市は、ブラジル人など外国の方がたくさん住んでいる国際色豊かな地域です。そこで、このような地域性を生かし、地域の人々や子ども達が触れあい、お互いの文化を知るきっかけになればとこの行事を行いました。また、開催にあたっては、太田市国際交流協会をはじめとする、地域の方々のご協力をいただきました。

なかでも、期間中のメインイベントとして開催した5月14日(日)の「みんなでカーニバル」は、「ぐんま母親クラブフェスティバル」と同時開催し、大変にぎやかな1日となりました。公園野外ステージをメイン会場に、地元ブラジル人ダンサーによるサンバショー、ブラジル人学校ピタゴラス太田校・バラレロ校の子ども達によるダンス、市内の京和装備株式会社で学んでいるインドネシア研修生によるインドネシア伝統舞踊、当館で募集した子ども達による「わっかない南中ソーラン」の発表が行われました。

●●● メインイベント「みんなでカーニバル」を紹介します ●●●

サンバショー

地元に住むブラジル人ダンサーです。豪華な衣装を身につけて本場のステップを披露！その迫力に圧倒されました。



ブラジル人学校バラレロ校の子ども達

女の子達が、お揃いの衣装を着てキュートなダンスを披露してくれました。



わっかない南中ソーラン

当館では、小学3年生から中学3年生の子ども達35名が「わっかない南中ソーラン」に取り組み、市内の「太田市青少年郷土芸能集団 稚内南中ソーラン風雷坊」の中学生・高校生の指導のもと練習に励みました。見た目と違い、かなりの運動量がある「南中ソーラン」。翌日、翌々日に激しい筋肉痛に襲われる職員もチラホラ…。しかし、子ども達は元気そのもので、発表に向け何度も何度も繰り返し練習しました。当日は、風雷坊と子ども達が共演し、キレイのあるすばらしい踊りをみせてくれました。今後も、「続けたい！」という子ども達の声をうけ活動が続けることになり、次回の発表に向け練習を始めます。



ブラジル人学校ピタゴラス校の子ども達

男の子と女の子と一緒に踊るかわいらしいダンス。男の子と一緒に踊ろうよ！女の子はイ～ヤッ！なんて演出も。



インドネシアの伝統舞踊

音楽や衣装など本場そのもの！この日は、研修生の皆さんお手製の、「えびせんべい」が振る舞われ、異国の味と踊りを一度に味わえました。





少子時代の家庭教育

—自律心の発達を促すために—



今日の日本は、「少子高齢社会」といわれ、様々な社会問題が生じています。ここでは、「少子化がもたらす家庭教育の問題」に焦点をあててみました。少子時代の家庭教育の問題点は、過保護・過干渉・期待過剰の三つです。

<過保護>

子どもが一人ないし二人という状況では、もし事故にでもあって、けがでもされたらたいへんです。そこで現代の親は、けがを恐れ、木登り・塀の上に登る・小川を跳びこえるなどを禁止します。

また、子どもが自力でできることも親が手伝ってしまうことが多いようです。たとえば、母親が二歳の幼児を連れて外出します。子どもは簡単に靴がはけません。母親は気がせいいて、つい手を出してしまいます。こんなとき、母親がゆったり構えて、子どもにまかせておけば、自力で靴をはきます。いつも自力ではかせていれば、はきかたはどんどん上手になっていきます。自立心も発達します。

<過干渉>

現代の親は、「～しなさい」、「～してはいけません」という指示・命令をさかんに下します。子育てには、ある程度の指示と命令は必要ですが、それにしても、親の指示と命令が多すぎます。子どもが自発的に行動して失敗でもしようものなら、「なぜ、言った通りにしなかったの!」と叱られます。これでは自発的行動はしだいに消滅します。

自律心は子ども自身が善悪を判断するわけですから、発達段階に応じてまかせ、見守ることが大切です。また、指示や命令には、なぜよい・なぜいけないの理由説明が必要です。

<期待過剰>

かつて「狭き門」といわれた高等教育(大学)への進学率が五割を越え、大学さえ選ばなければどこかへ入学できるという状況です。

しかし、有名大学への入学は、相変わらず厳しい競争が続いています。都会では、三歳頃から「お受験」のための勉強をはじめめる子もいるそうです。能力以上に期待をかけられて、神経症的な行動が現れる幼児も少なくないそうです。

不登校の子どもは、中学生を中心に多いようですが、人間関係のほか、最大の理由は親の期待過剰にあるようです。

<では、どうしたらよいか>

① 子どもだけの時間と空間を提供する

地域社会が機能を失った今、地域の子ども集団で社会性を学ぶ機会を期待することはできません。そこで、幼児や小学生が家に遊びにきたら、10分でも20分でもよいから、部屋だけを提供し、親は絶対に干渉しないことです。部屋には、マンガ雑誌など一人で遊べるものは置かないことです。

② 他の母子と交流する

家の狭い空間に母子だけで長時間顔をつき合っていると、母子とも精神的に疲労します。できる限り家から出て、他の母子との交流を持つことです。その中で、他の母子関係を観察したり、子どもどうし遊ばせたり、時にはグチをこぼし合ったりすれば、日頃の不平不満も緩和されます。

③ けんかのすすめ

昔は、子どもどうしよくけんかをしました。とっくみ合ったり、自己主張をぶつけ合ったり、子どもはけんかを繰り返しながら、他人との間に良好な人間関係のつくり方を学んでいきます。むやみに禁止したり、悪い子と決めつけたりすると、このような学習の機会が奪われることになります。

④ 伝統的なゲームを教える

これからの社会は、パソコンが使えないと一人前とは認められません。しかし、パソコンにのめりこむと、人間嫌いになります。そうならないためにも、将棋・囲碁(五目並べでも可)などの伝統的なゲームを楽しむことをおすすめします。

伝統的なゲームは、感情を持った人間相手だからです。教えるのは、父親の出番です。将棋をやるためには、まず駒の動きかたを学ばなければなりません。つまり、ゲームのルールを理解しなければ参加できません。続けて二手指したり、待ったをしたりしてもいけません。ルールを完全に理解し、守らなければ、ゲームは成り立ちません。

法律もエチケットも、ひとつのルールです。社会生活をする上で、ルールを尊重することがいかに大切かも、ゲームを通して学習できます。

[参考文献]

依田明「少子時代の家庭教育」(『教育と医学』1998年1月号所収)

いきいき ボランティア

ボランティアによるボランティア講座
「初心者ペンシルバルーン教室」飯塚千砂さん

今回は6月16日・7月2日に行われたペンシルバルーン教室の講師を務めていただいた飯塚千砂さんにお話を伺いました。プレイルームに登録している飯塚さんは、幅広い特技を生かして、こどもの国以外でも様々な場でマルチに活躍されている“あそびの達人”です。



Q: こどもの国のボランティアをはじめてきっかけは?

A: 伊勢崎市南公民館で行っているけん玉クラブのつながりでこどもの国からけん玉講師として呼ばれた時に、ボランティア活動が出来る事を知り、登録しました。

Q: 日頃行っている活動について教えてください。

A: 児童館・幼稚園・小学校・公民館などで、バルーンや伝承あそび(けん玉、お手玉、ペーゴマ等)、大道芸の活動をしたり、未就園児親子リズムあそびもやっています。

Q: 今後の抱負を聞かせてください。

A: 今回の様なボランティア講座などを通じて自分の持っている“あそび技術”を1人でも多くの人に伝えたい。そしてそれをそれぞれの児童館や地域活動へ持ち帰って、広めていてもらいたいと思っています。

楽しくて分かり易いバルーン教室も大好評! またぜひ、飯塚さんのあそび技を伝授して頂きたいと思います。

マッサージでリラックス あかちゃんサロン



あかちゃんサロンは、保健師であり助産師の額田直子先生を講師にお招きし、オイルを使ったベビーマッサージの体験や、あかちゃんをもつお母さん達の交流の場として行われている事業です。

昨年度は参加者が増加したため、今年度からは午前10:00からは2~6ヶ月児と保護者、11:00からは7ヶ月~1才未満児と保護者の各回定員15組と、1日の参加人数を増やし年間6回行います。また、新たに、マッサージ体験の後にさわかいお茶とお菓子をいただきながら、お母さん達が交流を図れる茶話会も取り入れました。

5月19日の第1回目は、雨にもかかわらず計10組の親子がベビーマッサージに挑戦。お母さん達はあかちゃんに語りかけながらスキンシップを図りました。あかちゃんも手や足、お腹や胸などお好みの場所があるようで、気持ちよさそうにしていたり、そこはイヤ!とむずがったり、かわいらしい反応がみられました。また、茶話会では、初対面のお母さんもりラックスして様々な話が弾んでいたようです。

次回、あかちゃんサロンは9月22日(金)に行う予定です。詳細は当館まで、お電話でお問い合わせください。

紹介します

「邑楽町立南児童館」

このコーナーは、県内の児童館を紹介します。
楽しい行事や特色ある遊具などをお話していきます。



〒370-0615
邑楽郡邑楽町篠塚1411-8
TEL.0276-88-2258

〈開館時間〉9:00~18:30

〈休館日〉日・祝・年末年始



今回は、4月に移転新築したばかりの邑楽町立南児童館と、そちらで開催された児童福祉週間60周年記念特別事業「児童館まつり」をご紹介します。

あいにくの雨模様だった5月27日(土)の「児童館まつり」ですが、そんなお天気にも負けない子ども達が沢山集まって、とても賑やかでした。入口にはテントを張って、民生委員さんやガールスカウト、ボランティアの方々が、けんちん汁やチョコバナナを子ども達に振る舞っていました。肌寒い位の気温でしたので、けんちん汁も大好評。

また、伺った時は、ボランティアさんによる人形劇の発表や保育者ユニット「シャボン玉」のコンサート、町内小学生たちの八木節発表などで、とても盛り上がっていました。

発表が終わると、皿回し体験やシャボン玉遊び、館内の工作室等を使ってミニ生け花やコルクをビーズなどで飾る小物作りなどで楽しむことができました。

担当の熊倉登希江先生にお話を伺ったところ、「今まで正午だった開館時間が、新しくなってから9時になったこともありますが、1日あたり20~30人来館者が増えました。職員も1名増えて4名になりました。平日は近隣の学校帰りの小学生で賑わいます。5、6年生になると、館内では物足りないの、隣の青少年広場を借りて野球もします。でも、以前の児童館を知っている子どもの中には、「前の方が木登りできてよかったな」という声もあるんですよ。」とのこと。

「児童館まつり」に集まった沢山の子ども達とそれを見守り支援する先生やボランティアの大人達との連携によって、新生「邑楽町立南児童館」はこれからも安心して遊べる地域の児童館となっていくことでしょう。

こどもの国無料貸出自転車のお知らせ

東武三枚橋駅前からぐんまこどもの国への来園者へ、
自転車の無料貸出しを行っています。

設置場所: 太田市鳥山下町642-3(三枚橋駅東側)

利用期間: 4月~11月までの、土・日・祝日と

群馬県民の日(10/28)

利用時間: 9:00~17:00

(17:00までにならず返納)

利用年齢: 小学校4年生以上

※小学生は保護者の了解と、中学生以上は身分を証明できるものを確認させていただきます。



● 詳しくは、下記までご連絡ください ●

太田市役所 花と緑の推進課 TEL(直通)0276-47-1840

三枚橋無料貸出自転車管理事務所 TEL 0276-25-6160(貸出日のみ)

編集後記

夏休みにしかできない、楽しいことって何だろう。子どもだからできる、楽しいことって何だろう。せつかくだから、今やらないと、もったいないことを、やろう。